

平成29年7月11日
公益社団法人宮崎県畜産協会

肉用牛肥育経営安定特別対策事業（牛マルキン）の
補填金単価（概算払）に係る算定基礎の修正（平成29年4月分）について

平成29年6月8日（木）に公表した平成29年4月に販売された交付対象牛に適用する肉用牛経営安定特別対策事業実施要綱（平成28年3月25日付け27農畜機第5583号）第6の9及び附則第10に基づく概算払の補填金単価の算定基礎に、別紙のとおり修正がありましたのでお知らせします。

今回の修正は、独立行政法人農畜産業振興機構が算定する生産コストのうち、配合飼料（暫定値）の修正に伴うものです。なお、今回の修正による補填金単価の変更はありません（発動はありません）。

連絡先

価格対策部 価格1課

担当：田中、函師

電話：0985-41-9305

(参考)

牛マルキンにおける平均推定所得算定基礎(肉専用種)
【平成29年4月(修正)】

(単位:円/頭)

区 分	肉専用種
粗収益 (A)	1,263,450
生産コスト (B)	1,093,952
差額 (C) = (A) - (B)	169,498
暫定補填金単価 (D) = C × 0.8	—
補填金単価 (概算払) (D) - 4,000	—

粗収益 (A) = ① + ②	1,263,450
主産物価格 ① = a × b	1,253,394
枝肉市場価格 (円/kg) a	2,579
枝肉重量 (kg) b	486
副産物価格 ②	10,056
生産コスト (B) = ⑤ + ⑥ + ⑦ + ⑧	1,093,952
物財費 ③	998,118
もと畜費	644,390
飼料費	286,989
流通飼料費	285,525
麦類	10,922
とうもろこし	9,626
ふすま	8,865
かす類	7,574
配合飼料(暫定値)	205,077
稲わら	23,868
その他	19,593
牧草・放牧・採草費	1,464
敷料費	11,539
光熱水料及び動力費	10,312
その他の諸材料費	182
獣医師料及び医薬品費	8,160
賃借料及び料金	4,287
物件税及び公課諸負担	4,760
建物費	11,912
自動車費	5,504
農機具費	8,464
生産管理費	1,619
労働費 ④	72,673
家族	65,916
費用合計 ⑤ = ③ + ④	1,070,791
支払利子 ⑥	12,266
支払地代 ⑦	413
と畜経費 ⑧	10,482

注1: 補填金単価は100円未満切り捨て。

2: 平成26年度より、消費税抜きで算定。

肉用牛肥育経営安定特別対策事業（牛マルキン事業）の
補填金単価について【平成 29 年 4 月分】

平成 29 年 4 月に販売された交付対象牛に適用する肉用牛肥育経営安定特別対策事業実施要綱（平成 28 年 3 月 25 日付け 27 農畜機第 5583 号）第 6 の補填金単価（概算払）については、下記のとおりです。

なお、補填金単価の確定値については、8 月上旬に公表する予定です。

記

販売月	肉専用種 (地域算定)
平成 29 年 4 月	一円

注 1：平成 23 年度第 2 四半期以降の補填金について、月毎に支払う方式としています。

注 2：平成 26 年度より、四半期の最終月以外に販売された交付対象牛について、肥育牛補填金の概算払を行うこととしています。精算払については、四半期の最終月の補填金交付とあわせて行います。

注 3：概算払は、配合飼料価格安定制度の当該四半期の補填金がないと仮定して計算した額より 4,000 円/頭を控除した額としています。ただし、控除した額が 1,000 円/頭未満の場合は概算払を行いません。

注 4：補填金交付額に見合う財源が不足する場合等、上記補填金単価を減額することがあります。

注 5：平成 26 年度より、消費税抜きで算定しています。

注 6：交雑種及び乳用種の補填金単価については、独立行政法人農畜産業振興機構が下記ホームページで公表します。

(<http://www.alic.go.jp/operation/livestock/assistance-marukin.html>)

連絡先 価格対策部 第 1 課 担当：函師、田中 電話：0985-41-9305

(参考1)

牛マルキンにおける平均推定所得算定基礎(肉専用種)

【平成29年4月】

(単位：円/頭)

区 分	肉専用種
粗収益 (A)	1,263,450
生産コスト (B)	1,092,471
差額 (C) = (A) - (B)	170,979
暫定補填金単価 (D) = (C) × 0.8	—
補填金単価 (概算払) (D) - 4,000	—

粗収益 (A) = ① + ②	1,263,450
主産物価格 ① = a × b	1,253,394 ※
枝肉市場価格 (円/kg) a	2,579 ※
枝肉重量 (kg) b	486 ※
副産物価格 ②	10,056
生産コスト (B) = ⑤ + ⑥ + ⑦ + ⑧	1,092,471
物財費 ③	996,637
もと畜費	644,390 ※
飼料費	285,508
流通飼料費	284,044
麦類	10,922
とうもろこし	9,626
ふすま	8,865
かす類	7,574
配合飼料 (暫定値)	203,596
稲わら	23,868
その他	19,593
牧草・放牧・採草費	1,464
敷料費	11,539
光熱水料及び動力費	10,312
その他の諸材料費	182
獣医師料及び医薬品費	8,160
賃借料及び料金	4,287
物件税及び公課諸負担	4,760
建物費	11,912
自動車費	5,504
農機具費	8,464
生産管理費	1,619
労働費 ④	72,673
家族	65,916 ※
費用合計 ⑤ = ③ + ④	1,069,310
支払利子 ⑥	12,266
支払地代 ⑦	413
と畜経費 ⑧	10,482

注1：補填金単価は100円未満切り捨て。

2：平成26年度より、消費税抜きで算定。

※ 県独自に算定を実施。

(参考2)

主産物価格及びもと畜費の算定

1 主産物価格の算定

主産物価格は、牛個体識別全国データベースをもとに、本県からの出荷状況を考慮し、選定した以下の卸売市場における食肉流通統計（農林水産省公表）の取引データと本県における相対取引のデータをもとに算定しています。

【算定に用いる卸売市場】

東京都中央卸売市場、大阪中央卸売市場、福岡市中央卸売市場、京都市中央卸売市場、名古屋市中央卸売市場、西宮市食肉地方卸売市場、姫路市食肉地方卸売市場、兵庫県加古川食肉地方卸売市場、佐世保市地方卸売市場

2 もと畜費の算定

もと畜費は、牛個体識別全国データベースをもとに、本県への導入状況を考慮し、選定した以下の家畜市場における肉用子牛取引情報（（独）農畜産業振興機構公表）の取引データをもとに算定しています。

【算定に用いる家畜市場】

ホクレン十勝地区家畜市場、平戸口中央家畜市場、宇久小値賀家畜市場（長崎）球磨家畜市場、熊本県家畜市場、豊後豊肥家畜市場、豊後玖珠家畜市場、南那珂地域家畜市場、都城地域家畜市場、小林地域家畜市場、児湯地域家畜市場、延岡家畜市場、高千穂家畜市場、宮崎中央農業協同組合家畜市場、薩摩中央家畜市場、始良中央家畜市場曾於中央家畜市場、肝属中央家畜市場、種子島中央家畜市場、徳之島中央家畜市場、与論家畜市場、南部家畜市場、宮古家畜市場八重山家畜市場、今帰仁村家畜市場、久米島家畜市場、多良間家畜市場